

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-8-1-1
事務事業名 雨水処理施設整備事業				部等名	企業局
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	上下水道課
	公共下	07-020101002	細々目名		
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	8	下水道等の整備		
	基本事業名	1	公共下水道の整備（雨水）		

事業概要 実施内容	雨水処理施設の整備 1.雨水排水路の改良 2.排水ポンプ場の新・増設				
根拠法令等	下水道法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 需要費	134,766 円	15 工事請負費	30,434,250 円
	7 賃金	円	12 役務費	33,360 円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	537,490 円	合計	31,139,866 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		浸水等の恐れのある地区の市民	
手段(事業の具体的な内容、手順等)		活動指標名・式(アウトプット)	活動の大きさを表す指標
<ul style="list-style-type: none"> 排水路整備箇所の決定 国庫(県)補助金及び起債の申請事務等 工事箇所の設計書作成及び発注事務 工事の契約、竣工検査、工事請負費の支払い事務等 		指標(1)	名称 幹線排水路整備済延長 式
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指標名・式(アウトカム)	意図の達成度を表す指標
集中豪雨等による浸水を防止する。		指標(1)	名称 排水路整備率 式 幹線排水路整備済延長/幹線排水路計画延長(7,563m)
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか		指標(2)	名称 排水ポンプ場整備率 式 整備箇所/計画箇所(7箇所)
浸水被害の無い快適な環境のまちづくり			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	m			4,440	4,600	
	活動指標(2)	箇所			6	6	
	成果指標(1)	%			58.71	60.82	
	成果指標(2)	%			85.71	85.71	
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円			15,600	24,440
		地方債	千円			12,960	20,304
		その他	千円				
		一般財源	千円			2,580	3,330
	事業費計(A)	千円			31,140	48,074	
職員数	人				0.5	0.5	
人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
人件費計(B)	千円				4,187	4,187	
総事業費(A+B)	千円				35,327	52,261	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
事業開始時期より、水路完成の姿が見えてくるに従い地元住民からの期待は大きい。また、左岸築堤事業が具体的に始まったため、それに伴う雨水管渠、雨水ポンプ場の整備等の事業の実施が早急に求められている。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
地元住民からは、現在の事業ペースよりも早期に完了できないかとの要望がある。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
施設の整備は、浸水被害の解消である。	公共の事業であり、市が行う必要がある。	施設の整備は、市民全体を浸水被害から守ることになる。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
国が実施する阿武隈川左岸築堤工事に合わせて、本市の雨水計画の見直しを行うことで、より万全な安全対策が講じられ、市民を浸水等の災害から守ることが出来る。	浸水被害解消年次が遅れることになる。	類似事業は無し。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
排水路に再生材等を使用しコストを下げてきている。		業務量として、工事の設計から完成後の工事費支払い事務まであり適正である。
受益者負担は無い。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 今まで6箇所の排水ポンプ場を建設し、雨水幹線も大方は完成している。しかし、100%の浸水解消とはなっていない。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 阿武隈川左岸築堤工事との調整をスムーズに進めるため、市側で基本設計を実施する。国が進める阿武隈川左岸築堤工事に合わせた、市の雨水計画の見直し。(ポンプ場の設置場所の見直し等)																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 左岸築堤の実施に伴う雨水管渠、雨水ポンプ場の整備等の事業が発生してきたが、財政健全化計画とも整合性をとりながら事業を進めるためには、汚水処理施設整備事業の縮小、または市全体の公共事業の見直しが必要である。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由 阿武隈川左岸築堤基本計画策定に伴い、有効性に見直し余地がある。効率性については、国の基準があるため、工事規模を広げざるを得ない。																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項 成果指標を事業目的にあった「浸水危険区域面積の減少」へ見直す必要がある。																						